

これは計算書です。「認定申請書」を2枚用意してください

4号・6項共通

# 売上高計算書

運用緩和3

## ■緩和を受ける理由：

この計算書のA,B,C,Dは申請書のそれぞれの欄に対応しています。

最近1か月を含めた今後3か月分の売上高及び売上高見込み

最近	令和 年 月	令和 年 月	令和 年 月	Aの後2か月間の 合計売上高	今後3か月 合計売上高
売上高	<b>A</b> 千円	C1 千円	C2 千円	<b>C = C1+C2</b> 千円	<b>A+C</b> 千円

令和元年10月～12月の売上高

前年	令和元年10月	令和元年11月	令和元年12月	10月～12月の 合計売上高	10月～12月の 平均売上高
売上高	D1 千円	D2 千円	D3 千円	<b>D = D1+D2+D3</b> 千円	<b>B = D÷3</b> 千円

### 【最近1か月の減少率】

$$\frac{\text{B} \text{ 千円} - \text{A} \text{ 千円}}{\text{B} \text{ 千円}} \times 100 =$$

(1)の  
減少率(実績) %

※小数点以下第2位以下切り捨て、第1位まで記載

### 【最近1か月を含めた今後3か月間の減少率】

$$\frac{\text{D} \text{ 千円} - \text{A+C} \text{ 千円}}{\text{D} \text{ 千円}} \times 100 =$$

(2)の  
減少率(実績見込み) %

※小数点以下第2位以下切り捨て、第1位まで記載

上記の内容について、事実に相違ありません。

年 月 日

社名・代表者名  
(個人事業者は屋号・氏名)

金融機関、担当税理士等確認欄  
上記内容について確認しました。

印

これは計算書です。「認定申請書」を2枚用意してください

4号・6項共通

# 売上高計算書

# 運用緩和3

■緩和を受ける理由：令和〇年〇月〇日に〇〇区〇〇町で〇〇業の新規店舗を開業したため

この計算書のA,B,C,Dは申請書

「最近6か月平均」を使用する場合は、2重線で消し、「令和△年〇月～令和△年×月の平均」と記載してください。

最近1か月を含めた今後3か月分の

最近	年 月	年 月	年 月	Aの後2か月間の 合計売上高	今後3か月 合計売上高
売上高	A 千円	C1 千円	C2 千円	C = C1+C2 千円	A+C 千円

令和元年10月～12月の売上高

前年	令和元年10月	令和元年11月	令和元年12月	10月～12月の 合計売上高	10月～12月の 平均売上高
売上高	D1 千円	D2 千円	D3 千円	D = D1+D2+D3 千円	B = D÷3 千円

【最近1か月の減少率】

$$\frac{B \text{ 千円} - A \text{ 千円}}{A \text{ 千円}} \times 100 =$$

(1)の  
減少率（実績）  
※小数点以下第2位以下

【最近1か月を含めた今後3か月間の減少率】

$$\frac{D \text{ 千円} - (A+C) \text{ 千円}}{(A+C) \text{ 千円}} \times 100 =$$

(2)の  
減少率（実績見込み）  
※小数点以下第2位以下

※「最近1か月」とは、申請月の前月または前々月を指します。「最近6か月平均」とは、「最近1か月」を含んだ期間を指します。

12月に申請の場合

<最近1か月での比較月例>

10月・11月・12月

または

11月・12月・1月

<最近6か月平均での比較月例>

(5月～10月の平均)・11月・12月

または

(6月～11月の平均)・12月・1月

上記の内容について、事実に相違ありません。

令和2年12月1日

金融機関、税理士等の記入欄

社名・代表者名  
(個人事業者は屋号・氏名)

●●株式会社  
代表取締役 ●● ●●

金融機関、担当税理士等確認欄  
上記内容について確認しました。

○○信用金庫○○支店 印  
支店長 ○○ ○○